

日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第4号
令和5年6月22日発行
文責 村山

笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい

心のきずなを深める月間

6月は、熊本県では「心のきずなを深める月間」となっています。学校・保護者・地域が連携して行う取組です。

近年、「いじめ」が、全国的な教育問題として、ニュースや新聞等にも取り上げられています。

昨年11月から12月に行われた「熊本県公立学校心のアンケート」によりますと、「いじめられたことがある」と答えた子供は、小学生が17.1%、中学生が3.8%、高校生が1.0%となっており、小学校低学年に「いじめられた」と答えた子供が多くいます。

校長として、本校を「いじめを許さない学校・学級」にするために、「子供たちの居心地よい学校・学級づくり」と、「すべての子供がSOSを出しやすい信頼関係づくり」が大切と考えています。

先日、全校集会で、「一人一人の命は、家族からいただいたかけがえのないものです。その長く続く命は大切にしなければなりません。言葉や暴力でのいじめは、決してやってはいけません。つらいことがあった友達には、助けをあげる人になってほしいと思います。」と話をしました。

学級でも、道徳等を通して、命や心の大切さを学習しています。日頃の学級で、友達を認め合うことに取り組んでいます。また、27日には、「命の日」集会を行い、一人一人の命の大切さを考える場を設ける予定です。

また、ご家庭や地域では、子供自身が「自分は大切にされている」「自分は友達や身の回りの人の役に立っている」というプラスの感覚(自己有用感)を感じるような言葉かけをしたり、子供と一緒に自然体験やスポーツ活動、ボランティア活動等をしたりするなど、感動を共有できる機会をつくっていただけるとありがたいです。

また、子供のSOSを受信された場合は、担任にも情報提供をしていただけると、早期の対応ができますので、よろしくをお願いします。

国版コミュニティスクールが発足

5月30日(火)に、日奈久小・日奈久中の国版コミュニティスクール(日奈久学校地域づくり協議会)が発足しました。その第1回会議(学校運営協議会)を日奈久中学校で行いました。

協議会の委員には、今田自治会長や桑原校区長など地域の方や、本校から中山PTA会長など20人が選任さ

れました。

コミュニティスクールとは、学校運営や教育活動への意見交換や支援活動など、地域・保護者と学校が一体となって、学校運営や子供たちの健全育成を行っていくものです。

日奈久は、地域の方がとても学校に愛情を注いでいただける地域ですので、コミュニティスクールと合わせて、益々「地域とともにある学校」にしていきたいと思っています。



1年生もタブレットパソコンを使います

4月に入学した1年生は、6月からタブレットパソコンでの学習が始まりました。担任の田中先生とICT授業サポーターの指導で、名前などを書いたり写真を撮ったりするなどの操作を勉強しています。習ったことを生かして、生活科の植物の成長の観察日記を作ります。本校は、1年生から6年生まで授業中にタブレットパソコンを使いながら学習しています。

ICT活用は、これからの子供たちが世界の人と仕事をする上で、必要なスキルとなります。情報モラル教育と合わせて学習を進めてまいります。



FMやつしろに出演しました

6月16日(金)17時から、日奈久小学校と日奈久中学校の職員合計6人が、金波楼に向かい、FMやつしろの番組に出演しました。

小中両校長と若手職員(本校は淵川先生)で、日奈久の良さアピールや、合同運動会、コミュニティスクール・小中連携について、若手職員の頑張っていることやエピソードなどを1時間お話しさせていただきました。

パーソナリティの榎田さんや山下さんが軽快に上手に話を引き出していただけで楽しい時間となりました。

お二人からは、「小中学校の職員の仲のよさが伝わった」と言っていたさうれしく思いました。

チャンスがあれば、もっと日奈久の良さや日奈久小中学校の取組を伝えられたらと思います。

